

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	高齢者支援課長 清水 計明
主管課(関係課)【2】	高齢者支援課

【施策の概要】

施策名【3】	分野【4】	まちづくりの方向性【5】
笑2-2 高齢者の生きがいがづくりの充実	元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり
施策全体の課題【6】 高齢者が健康に暮らしていくためには、他世代との交流を通じて社会に参加し、活動することも重要です。そのため、高齢者の社会参加のための情報提供に努めます。また、さまざまな形態の就労支援を行うことで、高齢者の生きがいがづくりを支援することが必要です。		施策実現へむけたキーワード【7】 ・他世代との交流による社会参加への支援 ・社会参加を通じた健康の維持 ・さまざまな就労形態の検討と支援の実施
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】 ◇西東京市の高齢化率は平成24年4月1日現在で、20.8%、平成35年には25.4%に達すると推計されています。		施策の目標【8】 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】
1	高齢者の多様な社会参加を支援します	高齢者の多様な社会参加の促進
2	高齢者の雇用・就労への支援を進めます	高齢者の多様な雇用・就労の促進

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実」に対する市民満足度	目標値	20%			単位	%	
		算出式・説明	西東京市では団塊の世代、高齢者率の増加が急速に進んでいます。そのため、「生きがいがづくり」に関する事業を充実させ、だれもが元気に暮らせるまちづくりを行うことが重要です。市民意識調査で把握します。	実績値	12.7	12.7	12.7	13.8	13.8	13.9
		達成率	64%	64%	64%	69%	69%	70%		
	指標2	名称	高齢者大学・福祉会館などでの開設講座利用者延べ人数	目標値	30,000人			単位	人	
		算出式・説明	高齢者の生きがいがづくりのために、市としても生涯学習を中心とした高齢者のための学習の機会を提供することが必要です。	実績値	23797	25867	26986	25538	30851	
		達成率	79%	86%	90%	85%	103%	0%		
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				72%	75%	77%	77%	86%	35%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	12.7%	満足度(%)	13.8%	満足度(%)	13.9%
満足度(平均ポイント)	-0.17	満足度(平均ポイント)	-0.17	満足度(平均ポイント)	-0.13
重要度(%)	69%	重要度(%)	69.6%	重要度(%)	67.1%
重要度(平均ポイント)	0.9	重要度(平均ポイント)	0.91	重要度(平均ポイント)	0.88

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇高齢者の多様な社会参加の支援策として、高齢者クラブが行う社会奉仕活動や教養の向上、健康増進への取組みを支援し、高齢者クラブの活性化に向けた取組みも引き続き行っています。一方で、高齢者クラブの会員の高齢化が進んでいるため、団塊の世代の高齢者の取り込みが課題となっています。 ◇福祉会館、老人福祉センターを活用し、身近な地域で誰もが生きがいつくりに取り組みできるようにしていく必要があります。 ◇平成23年5月に実施した高齢者保健福祉計画の調査によれば、生きがい分野の「今後行いたいこと」の設問に対しては、17.4%の高齢者が「働くこと」と回答しています。高齢者の雇用については、高齢者の豊かな知識や経験を活かせる就労の場の確保のため、シルバー人材センターや、公共職業安定所との連携をし、雇用情報の提供、相談対応等を行ってきました。今後の課題としては、高齢者が増加していくことを踏まえ、引き続き就労支援のニーズへの対応をしていく必要があります。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇高齢者の社会参加への支援として、高齢者クラブ加入率のアップを目指し団塊の世代や比較的若い世代も取り込む行事のPRや介護予防事業の拠点として福祉会館、老人福祉センターの施設整備やいきいきミニデイ事業の実施などの支援に取り組んでいきます。 ◇身近な地域で誰もが生きがいつくりに取り組みできるように、福祉会館、老人福祉センターを生きがい、健康づくりの場として支援してきており、さらに運動器具の導入拡大等をしていきます。 ◇介護予防事業として、はつらつサロン事業の見直しを行い、より参加しやすいプログラムにすることで、自立生活への支援をしていきます。 ◇高齢者保健福祉計画の調査結果を踏まえ、高齢者の就労支援については、企業の定年退職年齢の引き上げ等の社会状況の変化など、就労支援のニーズの推移を想定したうえで、シルバー人材センターや公共職業安定所等と連携し取り組んでいきます。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】 高齢者の生きがいつくりの充実については、これまで高齢者クラブの取組み支援や、シルバー人材センター、公共職業安定所と連携した高齢者の就労支援を進めてきました。 市民意識調査結果における重要度認識は低位にありますが、今後も引き続き高齢者が増加傾向にあることを踏まえ、施策内容・実施コストともに現状を維持すべきものと判断しました。 なお、施設の老朽・耐震対応は公共施設の適正配置等に関する基本計画に基づき計画的に対応することとします。		
施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域			

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	老人クラブ、高齢者大学の充実（高齢者大学の開催）	高齢者支援課	総合講座やバランス回復教室、健康体操教室等の講座の参加を呼びかけ各福祉会館で高齢者大学を実施しています。
	老人クラブ、高齢者大学の充実（老人クラブ等への支援）	高齢者支援課	市内の老人クラブ連合会及び単位老人クラブが行う活動に対して、事業費の一部を補助することにより、その円滑な執行を図ります。活動としては、社会奉仕活動（友愛活動・施設訪問・美化活動等）、健康を進める活動（ゲートボール・輪投げ等）、生きがいを高める活動（カラオケ・民謡等）、その他の社会活動（役員会・研修会等）を行っています。
	福祉会館施設の耐震改修	高齢者支援課	平成20年2月に策定した「西東京市耐震改修促進計画」では、平成27年度までに耐震化率を100%とすることを目標としている。耐震基準を満たさないものや耐震診断を実施していない福祉会館についても「公共施設の適正配置等に関する基本計画」を踏まえ、必要に応じて耐震診断を行った上で、耐震化を進めます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
3,203	1,080	2,123	改善・見直し (平成22年度)	中	各種講座等への参加を通じて、高齢者が健康を維持し、生きがいを持った生活を送ることができます。	A
21,833	19,792	2,041	改善・見直し (平成22年度)	中	社会参加のひとつである老人クラブ活動を促進することで、高齢者の生活を豊かで健全なものにします	A
0	0	0	事業化 (平成22年度)	－	福祉会館の耐震化を図り、社会参加の場として安心して利用できるようにすることで、社会参加が促進されます。	A
25,036	20,872	4,164				